

## 2019年度 体協ニュース

No.	2019-⑭
行事名	第44回板橋区・高島平ロードレース大会
会場	高島平周回 5 km コース 日本陸連公認 20 km コース
日時	令和元年 10月20日(日) 午前8時30分～
主催	(公財)板橋区体育協会 (一社)板橋区陸上競技協会
後援	(公財)東京陸上競技協会 日刊スポーツ新聞社 朝日新聞社 (公社)板橋区医師会
協力	板橋区 高島平警察署 志村消防署 板橋区スポーツ推進委員協議会 板橋区柔道整復師会 国際興業(株)

令和元年10月20日(日)、日本陸連公認 高島平周回 5km コースにて、第44回板橋区・高島平ロードレース大会が開催されました。令和になって初めてのレースは8時半時点で、気温 21度 湿度 70%と、昨年より5度も高い気温でのスタートとなりました。本年も、川内優輝選手を迎え、20km レースからのスタートとなりました。坂本 健板橋区長の号砲で、川内選手をはじめとする、登録大学生、登録男子の集団がスタートして行きました。今年は気温の高さが影響したのか、川内選手はやや控えめの位置で一周を終え、大学の選手が先頭を引っ張る形となりました。10時に気温 22度まで上がる消耗戦の中、抜け出したのが、帝京大学 山根 昂希選手で1時間34秒とわずかに、1時間を切ることができませんでしたが好タイムでした。川内選手は苦しい走りが続き、今年は16番目のタイムでのゴールとなりました。そんな中、10kmの部において、一般男子で参加のビクター・コリル キプキルイ (GMO) 選手が28分33秒と大会記録を33秒上回る好タイムでフィニッシュテープを切りました。

また、5kmの部においても、ピーター ムワンギ (コモディイイダ) 選手が13分48秒の驚異的タイムで、ウィリー キプセレム (コモディイイダ) も14分25秒と大会記録(14分49秒)を上回る記録が続出しました。本レースも大分国際色豊かなハイレベルな戦いの場となったようです。10kmでは、一般女子の山口 遥 (AC・KITA) 選手が38回大会から6連覇と貫禄ながらも33分4秒の好タイムを記録しました。

今回は特に気温の高い中でのレースとなり厳しいものでしたが、毎年箱根駅伝出場選手や実業団選手も多数参加頂いている本大会で、トップランナーと間近でレース経験をしたいランナーの方は是非ご参加をお願い致します。

今回も、大会後のレース走路を利用したファンランも行われ、川内選手などと一緒にランニングを楽しみました。その後は、川内選手とのトークショーで走り方のコツや、練習の方法などの質問の回答がありました。川内選手は今年プロになり、また結婚もされ、会場には奥様もご来場いただきました。ありがとうございました。

表彰式には、高島三中の吹奏楽部に演奏を頂きました。

大会開催にあたりご協力を頂きました関係者の皆様に、感謝いたします。

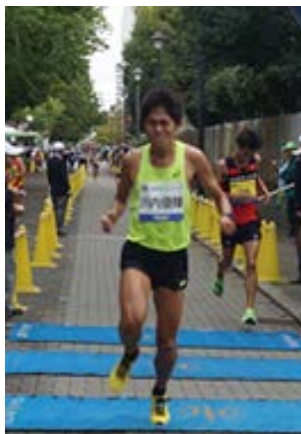
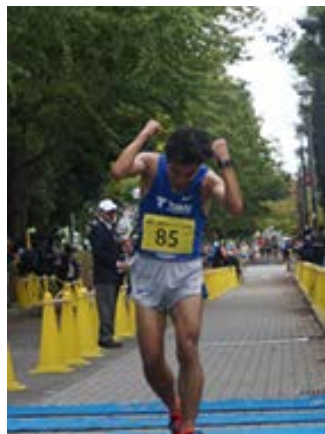
大会結果に関しましては、[http://itariku.org/docs/19itr\\_rslt.pdf](http://itariku.org/docs/19itr_rslt.pdf) をご覧ください。(文・写真 伊東 信)



8:30 20km スタート 坂本区長



20km 1周目



20km 1位 帝京大 山根選手 2位 東海大 羽田選手 川内選手

10km 1位  
ビクター・  
コリル キプキルイ選手



5km スタート



応援する和太鼓パフォーマー



ファン ラン 川内選手のトークショー ジャンケン大会 集合写真



コースでの応援、表彰式の演奏に協力いただいた、高島第三中学校吹奏楽部